

2022年度 茨城キリスト教大学一般選抜入学試験 1 期

日本史B

(解答は解答用紙に記入すること)

I 厩戸王^{うまやとおう} (聖徳太子) に係わる【A】・【B】の文について、問いに答えよ。

【A】

令和3年は、厩戸王の没後 (a) 年^{おんき}遠忌にあたる。歴史上よく知られている人物なので、多くの記念イベントが開催された。しかし、その人物像や歴史的評価は実に多様だ。さまざまな伝説が史実と混同し、実像がなかなか見えてこない。その実在までを疑うような考えが示されたこともある。

厩戸王に係る基本的史料に、(ア)『日本書紀』、(イ)『上宮聖徳法王帝説』がある。ともに厩戸王が亡くなってしばらくしてから成立したもので、すでに伝説化が始まっている。

現在では、厩戸王は推古天皇の摂政として、大臣である (b) と協調しつつ、近代的な国家形成を目指した有能な政治家とされている。(ウ) 豪族たちに国家官僚としての自覚を求め、新たな政治理念を示し、個人の才能・功績を重視した人材登用を行い国家組織の再編成を意図した。また、当時の国際的な大きな変化の中で、国の独立を維持するために (エ) 画期的な外交を実現した。

【B】

厩戸王は、仏教興隆に多大な役割を果たした。崇仏派と(オ)排仏派の間で生じた軍事衝突において、造寺を約し戦勝を祈願した。この祈願によって造立されたのが (c) だ。また、厩戸王の住居に隣接した地に (カ) 法隆寺を造立した。『日本書紀』によるとこの寺は670年に火災で失われ、現存する寺は再建されたものだ。しかし、法隆寺が世界最古の木造建築であることには変わりがない。金堂の薬師如来像光背銘には、厩戸王の父 (d) 天皇が法隆寺・薬師像造立を発願し、その死後、厩戸王がその意志を受け継いだと刻まれている。

問1 (a)～(d) に適切な数字・語句・人名を下記から選び記号で答えよ。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| あ 1300 | い 1400 | う 1500 | え 蘇我蝦夷 | お 中臣鎌子 |
| か 蘇我馬子 | き 敏達 | く 用明 | け 崇峻 | こ 薬師寺 |
| さ 飛鳥寺 | し 四天王寺 | す 広隆寺 | | |

問2 下線部(ア)～(カ)について、問いに答えよ。

(ア) 『日本書紀』の説明文として正しい文を1つ記号で答えよ。

- a 天智天皇が始めた国史編纂事業の一環として日本書紀は成立した。
- b 宮廷に伝わる「帝紀」等を稗田阿礼が暗唱し、それを太安万侶が筆録した。
- c 舎人親王が編纂し、中国の史書にならない編年体を採用した。
- d 諸国の産物や地名の由来、古老の伝承なども組み込んだ。

(イ) 『上宮聖徳法王帝説』は仏教公伝について538年説を示しているが、仏教を日本に伝えた百済の王の名前を答えよ。

(ウ) 次のa～dの中から正しい文を1つ記号で答えよ。

- a 憲法十七条は、中国から伝わった道教を基本的理念とする。
- b 冠位制の始まり、幾度かの改定を経て大宝律令の位階制となる。
- c 仁・義・礼・智・信・孝の6種を大小に分け、形の異なる冠を授けた。
- d 氏姓制度に代わるあらたな豪族による支配体制をつくる。

(エ) 中国に派遣された人物の名前を答えよ。

(オ) 587年に滅ぼされた排仏派の中心人物の名前を答えよ。

(カ) 1939年法隆寺西院境内から伽藍跡が発掘されたが、この伽藍跡の名称を答えよ。

Ⅱ 次の【A】・【B】の文について、問いに答えよ。

【A】（延暦二十四年十二月壬寅^{じんいん}）

是の日、中納言近衛大将从三位藤原朝臣^{あそん}内麻呂、殿上に侍す。

勅^{ちよく}有りて参議右衛士督^{う え じのかみ}従四位下藤原朝臣^{おつぐ}緒嗣と参議左大弁正四位下菅野朝臣^{すがの}真道^{まみち}とをして（ア）天下の〔 〕を相論せしむ。

時に緒嗣、議して云く、「方今^{いま}、天下の苦しむ所は（イ）軍事と（ウ）造作となり。此の両事を停めば百姓安んぜむ」と。

真道、異議を確執して肯えて聴かず。（エ）帝、緒嗣の議を善しとし、即ち停廢に従ふ。

（『日本後紀』）

※ 冒頭の「是の日」は、西暦805年12月7日のことである。

問1 下線部（ア）について、この日、藤原緒嗣と菅野真道は勅（天皇の命令）によって何を相論（議論）することになったのか、〔 〕に適切な語句を記入せよ。

問2 下線部（イ）について、この時期の軍事に関する正しい文を1つ選び番号で答えよ。

- ① 東北への侵攻は太平洋側では多賀城、日本海側は越後の磐舟柵^{いわふねのさく}を拠点とした。
- ② 蝦夷の豪族伊治些麻呂^{これはりのあざまろ}が征東大使紀古佐美^{きのこさみ}と組んで陸奥国の実権を掌握した。
- ③ 阿倍比羅夫^{あべのひらふ}が派遣され秋田地方の蝦夷と関係を結んだ。
- ④ 征夷大將軍坂上田村麻呂^{さかのうえのたむらまろ}は、陸奥国に胆沢城さらに志波城を築き支配を強化した。

問3 下線部（ウ）について、「造作」とは都の造営のことであるが、この時期の都より前の時期に造営が途中で中止された都は何京か答えよ。

問4 下線部（エ）について、この帝（天皇）の名前を答えよ。

【B】

- (1) 鳥羽法皇の死去を契機に、崇徳上皇と後白河天皇の対立が激化し、それぞれが武士勢力と結び武力による決着を図った。結果として(オ) 後白河天皇が上皇方を破り権力を掌握した。天皇は院政をはじめたが、院の近臣間の対立が生じ、再度の武力衝突となった。この事件を勝ち抜いた平清盛が政権を担うこととなった。
- (2) 後三条天皇は藤原家を外戚とせず、即位し、摂関家を押さえるため有能な学者を登用して国政の改革を行った。延久元年には荘園整理令を出した。公領(国衙領)を圧迫する荘園を整理するため、中央に(a) 荘園券契所を設置して地方の国司と連携し、かなりの成果をあげた。このことによって摂関家は大きな経済的打撃をうけたとされている。また、米の流通を促進するために公定の枬(宣旨枬)を決めたことも知られている。
- (3) 白河天皇は、父・後三条天皇にならい親政を実施したが、応徳3年にわかに譲位して堀河天皇を即位させた。しかし、白河上皇(院)は天皇を後見するとして(カ) 院庁を設置し、実権を掌握した。そして次第に権力機構が整備され、朝廷を超える権力を形成した。また、(b) の武士を設けることにより独自の軍事力を保持して、武士の中央政界進出の契機をつくった。

問5 (1)～(3)を時期順に並べかえると下記のどれか、記号で答えよ。

- あ (1) → (2) → (3) い (2) → (3) → (1) う (3) → (1) → (2)
え (1) → (3) → (2) お (2) → (1) → (3) か (3) → (2) → (1)

問6 文中の(a)・(b)に適切な語句を記入せよ。

問7 文中の下線部(オ)・(カ)について、問いに答えよ。

(オ) この武力衝突の名称を答えよ。

(カ) 院庁の政務を支えた人々を「院の近臣」と称する。彼らは実際に任地に赴き政務をとった国司たちであるが、このような国司を何と称するか。

Ⅲ 次の【A】～【E】の文について、問いに答えよ。

【A】

仙台藩の医師（ a ）は、『（ b ）』で蝦夷地開発の利を説いた。近年、蝦夷地付近にロシア船が出没し、将来的にはロシアとの交易の可能性もあるとの意見に対し、幕府老中（ c ）は先ず蝦夷地開発のための調査の必要性を感じ、（ d ）らを派遣した。

【B】

文化元年ロシア使節（ e ）が長崎に来航したが、幕府は冷淡に退去を求めたため、ロシア使節は帰国の際に樺太・択捉で武力事件を起こし、日露関係は冷え込んだ。（ア）文化4年幕府は松前藩と蝦夷地全てを直轄地として松前奉行を置き、東北諸藩を警備にあたらせた。しかし、ゴローニン事件をきっかけに日露関係は改善され、文政4年蝦夷地は再び松前藩に還付された。

【C】

^{かきざき}蠣崎氏は松前氏と改称し、徳川家康によりアイヌとの交易の独占権を許された。和人地以外に居住するアイヌとは商場あるいは場所と呼ばれた地が交易対象とされた（ここでの収益が家臣への禄とされた）。アイヌは寛文9年に（ f ）を中心に松前藩との戦闘に至った。松前藩は津軽藩の援助を得て鎮圧した。この戦い以後、アイヌは松前藩に完全に服従させられ、経済的権利等も奪われていった。商場の多くが和人商人への請負いとなった。

【D】

寛政4年、ロシア使節（ g ）が根室に来航し交易を求めた。しかし、幕府は根室での交渉を拒否し長崎に赴くことを伝えた。この時、（イ）ロシア使節は日本人漂流民の引き渡しを行った。寛政10年、幕府は（ウ）択捉島の探査を（ h ）・（ d ）らに命じた。彼等は択捉島に上陸し「大日本恵登呂府」の標柱を立てた。さらに享和2年に東蝦夷地は、幕府の直轄地とされた。

【E】

蝦夷ヶ島と呼ばれた北海道は日本海交易圏に組み込まれ、その産物が畿内・西日本にもたらされていた。この交易では、津軽の（ i ）が大きな役割を果たした。次第に本州から和人と称された人々が道南地域に進出し、居住地や港等の活動拠点を建設した。これらは（ i ）から進出した安藤(安東)氏の支配下にあった。北海道の産物は、漁労・狩猟を生業としたアイヌとの交易で入手したが、和人の進出によって次第にアイヌが圧迫されることとなり、不満をもったアイヌの大首長（ j ）は蜂起し、和人居住地を攻撃した。これを蠣崎(武田)氏が制圧し、以後道南地域は蠣崎氏の支配地となった。

問1 文中の（ a ）～（ j ）に適切な語句・人名を，【語群】から選び記号で答えよ。

【語群】

あ	ラクスマン	い	プチャーチン	う	道南十二館	え	最上徳内
お	工藤平助	か	海国兵談	き	コシャマイン	く	近藤重蔵
け	林子平	こ	十三湊	さ	レザノフ	し	田沼意次
す	松平定信	せ	シャクシャイン	そ	赤蝦夷風説考		

問2 下線部（ア）～（ウ）について，問いに答えよ。

（ア）翌年，幕府の命で樺太探検を行い，樺太が島であることを確認した人物の名前を答えよ。

（イ）この時，引き渡された漂着民の供述は書物にされたが，漂着民と書物名の正しい組み合わせを選び記号で答えよ。

あ	ジョセフ・ヒコ	ー『慎機論』	い	ジョン万次郎	ー『西洋紀聞』
う	大黒屋光太夫	ー『北槎聞略』	え	西川如見	ー『華夷通商考』

（ウ）「択捉」の読みを，平仮名で答えよ。

問3 【A】～【E】について，時代順に正しく並べたものを選び番号で答えよ。

- ① 【C】→【E】→【A】→【D】→【B】
- ② 【C】→【E】→【D】→【A】→【B】
- ③ 【E】→【A】→【C】→【B】→【D】
- ④ 【E】→【C】→【A】→【D】→【B】

Ⅳ 次の文を読んで、問いに答えよ。

西南戦争以後の日本経済は、不換紙幣の増発のため急速なインフレが進行していた。

(ア) 明治十四年の政変後に大蔵卿になった (a) は、増税によって歳入の増加と歳出の引き締めを図った。増税の一方、支出削減で生じた剰余金をもとに不換紙幣の整理を行った。1882(明治15)年には、蓄積した正貨をもとに中央銀行として (b) を創立し、1885(明治18)年からは (c) 本位制にもとづく兌換券である (d) を発行した。

深刻だった不況も、1886(明治19)年ごろから次第に回復して、紡績、製糸業などの工業が発展し、(e) の時代を迎えた。

繊維工業は開港以後、輸入品との競争で大打撃を受けたが、紡績業と織物業は次第に苦境を脱し発展を始めた。紡績業では、1873年臥雲辰致が発明した紡績機 (f) が愛知県を中心に普及した。1883(明治16)年に開業した大阪紡績会社が、最新のイギリス製機械を導入し (g) 錘の大規模操業に成功すると、機械紡績会社の設立が相次ぎ、(f) は衰退した。綿織物業では、紡績会社が力織機を輸入して機械化を進めた。1900年代には (イ) 国産力織機が開発され、農村の中小工場にまで普及するようになった。

生糸をつくる製糸業が、開港後に最大の輸出産業として成長した。貿易赤字が続くなか、貴重な外貨の稼ぎ手となった。当初は座繰製糸が中心であったが、輸入機械に学んで在来技術を改良した (h) が座繰製糸の生産高をしのぎ、明治末には世界最大の生糸輸出国になった。

軍事工場と鉄道を除く官営事業は、1884(明治17)年ごろから次々と民間に払い下げられた。特に三井・三菱・古河などの政商は、(ウ) 優良鉱山の払い下げを受けて、やがて (i) に成長した。

問1 文中の (a) ～ (i) に適当な語句を、語句群から選んで記号で答えよ。

あ	器械製糸	い	産業革命	う	ガラ紡	え	金	お	松方正義
か	生糸	き	財閥	く	2,000	け	日本銀行	こ	銀
さ	10,000	し	日本銀行兌換銀券	す	株券	せ	国立銀行券		

問2 下線部 (ア) について、この政変の内容を60字以内で説明せよ。

問3 下線部 (イ) について、綿織物業では小工場に小型国産力織機の導入が進んだ。この力織機をつくった人物の名前を答えよ。

問4 下線部 (ウ) について、佐渡の金山、生野の銀山の払い下げを受けたのは、次の①～④の中のどれか、番号で答えよ。

① 安田 ② 三井 ③ 三菱 ④ 住友

問5 重工業の基礎となる鉄鋼の国産化のために1901年から操業した官営工場の名称を答えよ。

V 次の写真A・写真Bについて、問いに答えよ。

写真A

この図は、下の（史料）の法令が公布された後、漫画雑誌トバエに掲載されたものである。

この図の作者名を答え、誰が何をしている図なのか説明せよ。



（史料）

第四条 皇居又ハ行在所ヲ距ル 以内ノ地ニ住居又ハ寄宿スル者ニシテ、内乱ヲ陰謀シ又ハ教唆シ又ハ治安ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキハ、警視總監又ハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ経、期日又ハ時間ヲ限り退去ヲ命ジ、 以内同一ノ距離内ニ出入寄宿又ハ住居ヲ禁ズルコトヲ得。

問1 この法令の名称を答えよ。

問2 この法令の公布は何年か答えよ。

問3 に入る適切な語句を記入せよ。

写真 B



(東京国立博物館蔵)

この絵の作者は、法律研究のため渡仏中、絵に転向した。ラファエル=コランに師事し、西洋絵画を学んだ。1893年に帰国し、東京美術学校に西洋画科を設置した。□□□□創立に関係し、東京美術学校教授・帝国美術院院長を歴任した。この作品は「読書」とともに代表作である。

問4 文中の□□□□に該当するものを、次の①～④の中から番号で答えよ。

- ① 日本美術院 ② 明治美術会 ③ 白馬会 ④ 工部美術学校

問5 この作者と作品の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から番号で答えよ。

- ① 青木繁 — 海の幸 ② 安井曾太郎 — 金蓉
③ 岸田劉生 — 麗子微笑 ④ 黒田清輝 — 湖畔

Ⅵ 次の文と（史料）を読んで、問いに答えよ。

1949(昭和24)年10月に建国した中華人民共和国は、1971(昭和46)年、台湾の国民政府に代わって国連で代表権を獲得し、国際社会における独自の地位を築いた。アメリカはひそかに中国との接触をはじめ、1972年にニクソン大統領が中国を訪問して敵対関係を終結させ、1979年には米中の国交を正常化した。

米中国交の正常化を受け、日本国内でも中国との国交正常化の声が高まると、1972年、佐藤栄作内閣に代わった（ a ）内閣は、首相自身が北京に赴き、国交正常化に関する声明を発表した。この声明により、1937(昭和12)年の（ b ）から続いた正常ではない状態が終わり、日中国交正常化が実現した。

1978年に福田赳夫内閣は、内需拡大を掲げて貿易黒字・円高不況に対処するとともに懸案であった（ c ）を締結した。

（史料）

日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。また、日本側は、中華人民共和国政府が提起した「復交三原則」を十分理解する立場に立って国交正常化の実現をはかるという見解を再確認する。中国側は、これを歓迎するものである。……………

五 中華人民共和国政府は、中日両国国民の友好のために、日本国に対する戦争賠償^{ばいしょう}の請求を放棄することを宣言する。

七 日中両国間の国交正常化は、第三国に対するものではない。両国のいずれも、アジア・太平洋地域において（ d ）を求めるべきでなく、このような（ d ）を確立しようとする他のいかなる国あるいは国の集団による試みにも反対する。

（『日本外交主要文書・年表』）

問1 （ a ）に該当する首相名を、下記の①～④の中から番号で答えよ。

- ① 三木武夫 ② 大平正芳 ③ 池田勇人 ④ 田中角栄

問2 （ b ）について、適切な語句を記入せよ。

問3 （ c ）について、適切な語句を記入せよ。

問4 この史料は、国交正常化に関する声明である。この声明の名称を答えよ。

問5 中国側の調印者の名前を答えよ。

問6 （ a ）内閣が総辞職を余儀なくされた疑惑とは何か答えよ。

問7 （ d ）に該当する語句を、下記の①～④の中から番号で答えよ。

- ① 利益 ② 植民地 ③ 覇権 ④ 支配

日本史B解答用紙

I
問 1

(a)	(b)	(c)	(d)
い	か	し	く

問 2

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
c	聖明王	b	小野妹子	物部守屋	若草 伽藍跡

小 計

II

問 1	問 2	問 3	問 4	
徳政	④	長岡 京	桓武 天皇	
問 5	問 6		問 7	
い	(a)	(b)	(オ)	(カ)
	記録	北面	保元の乱	受領

小 計

III

問 1

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
お	そ	し	え	さ	せ
(g)	(h)	(i)	(j)		
あ	く	こ	き		

小 計

問 2

(ア)	(イ)	(ウ)
間宮林蔵	う	えとろふ

問 3

④

小 計

IV

問 1

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
お	け	こ	し	い
(f)	(g)	(h)	(i)	
う	さ	あ	き	

小 計

問 2

伊 藤 博 文 が 、 早 期 の 憲 法 発 布 や 国	
会 開 設 な ど の 急 進 的 な 意 見 を 主 張	
す る 大 隈 重 信 を 、 官 有 物 払 下 げ 問	
題 に 関 係 が あ る と し て 罷 免 し た 。	

小 計

問 3	問 4	問 5
豊田佐吉	③	八幡製鉄所

小 計

V

写真A

作 者 名		図 の 説 明	
ビゴー		警察官が民権論を唱える新聞人を取り締まっているところ。 (言論の弾圧)	
問 1	問 2	問 3	
保安条例	1887(明治20)年	a 三里	b 三年

写真B

問 4	問 5
③	④

小 計

VI

問 1	問 2	問 3	問 4
④	日中戦争	日中平和友好条約	日中共同声明
問 5	問 6		問 7
周恩来	首相の政治資金調達をめぐる疑惑 (金脈問題)		③

小 計

受験番号	
------	--

総 計	
-----	--